

臨床研究名: 浸潤性粘液性腺癌の臨床病理学的検討

岡山労災病院では、以下の研究を行っています。

当研究では、患者さんからのカルテデータ使用についての同意がなかったものについては使用していません。

また同意した後に同意撤回することも可能です。その場合でも患者さんの不利益が生じることはありません。

研究題名	浸潤性粘液性腺癌の臨床病理学的検討
対象患者	2012年1月1日～2023年12月31日の間に岡山労災病院において肺癌手術を受けられた方約20名を研究対象とします。
研究目的及び内容	<p>肺癌の中には、「浸潤性粘液性腺癌(しんじゅんせいねんえきせいせんがん)」と呼ばれる、比較的まれで特徴的ながんがあります。このがんは粘液を多く含み、空気の通り道(気管支)を通じて、同じ肺の中の別の場所に広がる可能性があります。そのため、一般的な肺癌とは異なる治療の考え方が必要となる可能性があります。</p> <p>このような肺癌に対しては、病気の広がりや再発のリスクを考慮しながら、適切な手術方法を選ぶことが重要です。現在では、小さな肺癌に対して、肺の機能をできるだけ残す「縮小手術」が広く行われていますが、浸潤性粘液性腺癌に対してもこの手術が安全かどうかは、まだ十分に明らかになっていません。</p> <p>そこでこの研究では、このがんで手術を受けた患者さんの診療記録をもとに、縮小手術と、より広い範囲を切除する「肺葉切除」とで、治療後の経過(再発の頻度や生存期間など)に違いがあるかどうかを調べます。複数の医療機関からデータを集め検討することで、将来のよりよい治療方針につなげることを目的としています。</p>
使用する患者情報等	<p>この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。</p> <ul style="list-style-type: none">・基本情報: 年齢、性別、病歴、身長、体重、PS(全身状態指標)、既往歴、投薬歴・血液検査(腫瘍マーカー含む)、画像検査(CT・MRI・PET)・腫瘍組織型、病理病期、術前後の化学療法・放射線療法の有無と内容、有害事象・術式、術後病理診断、術後経過、再発の有無・時期・部位、再発後治療内容、生存情報、死因
研究担当者	所属・職名: 外科 医師 氏名: 葉山 牧夫
研究分担者	共同研究所属: 岡山大学病院など 共同研究者: 豊岡伸一ら
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2027年 3月31日
研究区分	<input type="checkbox"/> 臨床研究 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 観察研究 ・ <input type="checkbox"/> その他
倫理審査の有無	<input type="checkbox"/> 無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 (決済日: 2026年 1月 22日 承認No.582)
利益相反の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (決済日: 年 月 日 承認No.)
医薬品や物品の提供	<input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (名称: 年 月 日)
学会発表・論文投稿	<input type="checkbox"/> 無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 有 (公開する結果は統計的な処理をしたもののみ)
問い合わせ先 相談窓口	所属: 外科 氏名: 葉山 牧夫 TEL: 086-262-0131(代) FAX: 086-262-3391
備考	